



「フラスドゥ 元気っ子 通信」 10月号

発行日	平成30年10月 石田
日にち	毎週 月・火・水・木・金 「祝日を除く」
時間	午前9時30分から午後2時30分まで
場所	ながさわ保育園支援センター

時より肌寒い日もあり少しずつ秋の気配を感じるようになりました。食欲の秋、スポーツの秋、実りの秋と楽しみの多い季節がやってきました。10月はお散歩や運動会ごっこなどお天気の良い日は外に出て親子で体を動かし楽しく元気に過ごしていきたいと思います。また、昼夜の気温差がある季節でもあるので健康面でも十分に気を付けましょう。

9月13日(木)は子育てアドバイザーの武田先生に来て頂き「おしゃべり会」がありました。今回のテーマは「甘えさせる事、甘やかす事について」話し合いました。お母さん方もどこまで受け止めてあげたらよいか?と思う事がよくあるという意見がありました。できることでも時にはやって欲しいと甘えることもあるが子供の甘えたいという気持ちが大切で成長過程として時にはしっかりと受け止めてあげることが必要であることや逆に子供が望んでもない事を手を出し過ぎると成長の妨げになることもあるというお話がありました。次回は「絵本の読み聞かせについて」です。

9月19日(水)は「おまつりごっこ」をしました。手づくりのハッピを着てお魚釣りやくじ引きなどをして楽しみました。地域のおばあちゃんにお手伝いして頂きお店屋さんになってもらいました。おばあちゃんに優しく声を掛けてもらい魚釣りコーナーでは2歳児の子が釣れるまで釣っていました。釣れた事を一緒に喜んでもらいとても嬉しそうでした。いろいろな人とかわりながら一緒に楽しんだり喜んだりすることの大切さを感じました。



9月21日(金)は「お月見会」をしました。劇をみたり一緒にお月見の歌を歌ったりダンスをしたりして楽しみました。お母さん方と出身地の風習などの違いについてお話ししました。昔ながらの行事を忘れずに、これからも楽しみながら伝承していきたいと思います。



【ワンポイントアドバイス】

Q: 第二子が生まれて上のお兄ちゃんの甘えがひどくなったのですが...

A: 子どもは自分がお兄ちゃんになることにとっても喜びを感じます。待ちに待った赤ちゃんの誕生。これでぼくはお兄ちゃんです。ところが...今まで自分だけにかけていたお母さんの手が赤ちゃんに。現実には直面した子どもは戸惑い、不安になり、イライラしたり、泣いたり和前より一層お母さんに甘えるようになるのは当然です。下の子が生まれるまでは、家族の目がみんな自分に向いていたのに、赤ちゃんが生まれたことで家族の中の位置関係も変わってしまいます。みんなが赤ちゃんのことばかり...。と上の子は淋しくなりますね。お母さんは手が少しでも空いた時にはほんの少し、2~3秒でも体に触れ、スキンシップをとってあげてください。体に触れるということはとっても大事なことです。この繰り返しで子どもの気持ちも少しずつ安定していきます。子どもの心の栄養はお母さんの愛情です。ほんのすこしの時間でいいのです。